

こくさい新聞

小学5・6年生

下関市総合政策部
国際課

電話: 083(231)9653

メール
sskokusa@city.shimo
noseki.yamaguchi.jp

下関の小学生 中国で国際交流!

下関市は、友好都市である中国の青島市へ小学生を派遣する事業を行っています。
今年10月18日から22日までの日程で行いました。今号では、15回目となった今回の中国派遣研修の様子を皆さんにご紹介します。

**中国ってどんなところ?
期待と不安の中国研修が始まる!**

研修初日、下関港国際ターミナルに集合し、先生・保護者に見送られ、いざ青島へ出発! まずは、ゆっくり1泊2日の船旅を楽しみました。翌日の夕方、無事に青島へ到着。とても快適な船旅でした!

10月20日

中国の現地小学校を訪問

中国に来て最初の訪問先は、宜陽路小学です。宜陽路小学は、国際交流にとっても積極的な学校で、日本からのお客様さんを太鼓や歌で熱烈に歓迎してくれました。
その後、一緒に5人6脚や図工をし、素晴らしいひと時を共有することができ、楽しい日中交流となりました。



ちょっと一息、市内観光!

青島では、オリンピック公園や水族館の見学にも行きました。
オリンピック公園は、とても広くオリンピック選手たちの銅像がたくさん飾ってあり、日本の公園とはちょっと違う雰囲気でした!
青島の水族館には、下関から寄贈したイルカもいるって知ってましたか?



青島市教育局表敬訪問

日本とは違い中国の市役所は、市民が自由に出入りすることはできません。今回は特別に青島教育局の副局長が団員を出迎えてくれました。
教育局では、副局長に事前に用意してきた質問を尋ね、中国の教育事情を知ることができました。

10月21日

海外に進出した日本の洋服工場を見学

青島では、洋服の工場の見学にも行きました。私たちが普段着ている洋服を作っているところを実際に中国で見ることができて、とても面白かったです。
また、サプライズで青島訪問の記念Tシャツをいただきました。

日本人学校訪問

青島では、現地の日本人の子供たちが通う日本人学校も訪問しました。
まず、体育館で、全校生徒が迎え、6年生が太鼓を披露してくれました。

友好都市 中国青島市ってどんな街?

下関市と青島市は、1979年(昭和54年)10月に友好都市の関係を結び、2014年には35周年を迎えました。
青島市は、山東半島の南部に位置する中国有数の都市です。また、青島港は中国有数の貿易港となっています。青島市と下関市とは1,078kmの距離(下関から東京までの距離とほぼ同じです)にあり、その間は「オリエントフェリー」によって結ばれ、この航路を利用して下関市にはたくさんのお客さまが訪れています。
2008年には、北京オリンピックのヨット競技開催として海外の注目を浴びました。



オリンピックヨットセンターの様子

10月22日

楽しかった研修もあっという間に最終日。中国での交流や一緒に過ごした団員同士の友情も一生の宝物になりました! みんな一回り成長して下関に帰りました!



その後、6年生のクラスに移動し、日本人学校を楽しく紹介してくれました。その後は、お互いに質問したり、一緒に卓球で遊んだりして、友好を深めました。